

生活と結びつけた素材の開発「ハウセンカの水の通り道を明確に知らせる赤インク」

武雄・杵島支部 有明南小学校 竹下 忠和

1 素材の紹介

植物の水の通り道を調べるために、食紅液のろ液ではなく、「赤インク」を使った。



2 関連する学年と単元

- ・ 6年の新単元「植物の水の通り道」



3 素材について

- ・ 食紅液のろ液を作り、使ってみました。茎の水の通り道の管が詰まったものもありましたが、赤インクを使った場合は、全グループのハウセンカの根・茎・葉が赤く染まり、輪切りでも縦に切ってもみごとに赤い管のようすを観察することができました。

4 注意

- ・ 赤インク液に漬けた日のうちに観察をしないと次の日は茎も葉もしおれているため、注意しないとけない。

5 日常の効果

- ・ 赤く染まっていくようすを常に子ども達が観られるように、教室の棚に置きました。ほとんどの子ども達が変化のようすを休み時間等に口にして、葉の表面や裏側まで念入りに見ていました。
教科学習ではどれも同じですが、特に理科では観察も多く、運べるものは教室内か廊下、教室の窓際あたりに置いておくと子ども達の関心も高まります。